Publication No. JP 59-183836 U (published on 7 December 1984)

BOTTLE MADE OF SYNTHETIC RESIN

A bottle 1 made of a synthetic resin comprises a handle 7, and a cylindrical body 3, wherein the handle 7 includes a longitudinal vertical base plate 10 having a lower end base portion 8 formed with a button 9 protruded therefrom and a thin thickness portion 11 formed at the upper end portion thereof, and a grip member 12 formed integrally with the thin thickness portion 11 of the base plate, the grip member 12 including a horizontal extending portion connected at one end thereof to the thin thickness portion 11 of the base plate and extending horizontally outwardly from the thin thickness portion by a certain length, a downward extending portion bent at and downwardly extending from the other end of the horizontal extending portion so as to define a proper space between the base plate and the downward extending portion, and an inward bending portion bent inwardly at and further extending downwardly from a lower end of the downward extending portion so as to abut against the inner face of the lower base portion 8, the inward bending portion being formed with a buttonhole for allowing the button 9 to be fitted thereto, and wherein the handle 7 is securely fixed to the bottle body 1 in such a manner that the outer face of the base plate is firmly attached to the outer circumference of a cylindrical body 3 of the bottle body 1 by means of a shrink film 14 wound around the outer circumference of the cylindrical body 3 via the base plate 10.

19 日本国特許庁 (JP)

⑩実用新案出願公開

⑩ 公開実用新案公報(U)

昭59-183836

Int. Cl.3

B 65 D 23/10 25/28

71/08

識別記号

庁内整理番号 7312-3E

7312—3E 7214—3E ❸公開 昭和59年(1984)12月7日

審査請求 未請求

(全 1 頁)

9合成樹脂製壜

②実②出

願 昭58-79482

願

額 昭58(1983)5月25日

⑩考 案 者 後藤孝之

匈実用新案登録請求の範囲

下端の基部8外面から釦9を突設した縦形板状の基板10上端から、肉薄部11を介し基板10との間に適宜の空間を形成する如く一旦外方に突出してのち下方に垂下し、該垂下端を前記基部8に接面できる如く内方に折り曲げ、且つ該下端に前記釦9に嵌込む止め孔13を明けた把手体12を一体に設けた把手7を設け、この把手7を、そ

東京都江東区大島3の2の6株

式会社吉野工業所内

切出 願 人 株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6

号

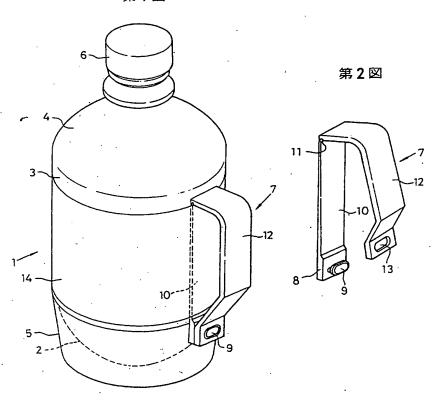
の基板 1 0 を介し壜胴部 3 外面に巻着するシュリンクフィルム 1 4 により該胴部 3 外面に締付け固定して壜体 1 に取付けた合成樹脂製壜。

図面の簡単な説明

第1図は本考案合成樹脂製壜の一実施例の外形 斜視図、第2図は同壜の把手の斜視図である。

1 … 壜体、 7 … 把手、 1 0 … 基板、 1 2 … 把手 体、 1 4 … シュリンクフィルム。





公開実用 昭和59-

183836

⑫ 日本国特許庁 (JP)

①突用新案出願公開

(全

買)

® 公開実用新案公報 (U)

昭59—183836

Holnt. Cl.3

織別記号

厅内整理番号

母公開 昭和59年(1984)12月7日

B 65 D. 23/10 25/28 71/08

7312-3E 7312-SE

7214-3E

審資請求 未請求

多合成制脂製堰

東京都江東区大島3の2の6株

式会社吉野工業所内

实验 昭58-79482

介出 願 人 株式会社吉野工業所

经苗 昭58(1983) 5 月25日

東京都江東区大島3丁目2份6

②考 案 者 後膝孝之

BEST AVAILABLE COPY

/. 考案の名称 合成樹脂製漿

2実用新案登録請求の範囲

下端の基部8外面から釦9を突設した級形板状の恋板10上端から、肉薄部11を介し基板10との間に適宜の空間を形成する如く一旦外方に突出してのち下方に垂下し、該垂下端を前記基部8に接面できる如く内方に折り曲け、且つ該下端に前記釦9に嵌込む止め孔13を明けた把手存12を一体に設けた把手7を設け、この把手7を、その基板10を介し類調部3外面に参替するシュリンクフィルム14により該胴部3外面に締付け

3. 考案の詳細な説明

本考案は合成樹脂製製に係り、特に簡易な把手を付設して持ち運びに便なるよう構成した合成樹脂製機を提供せんとするものである。

以下添付図面を参照して本考案実施例を説明するに、図で、1は例えば飽和ポリエステル樹脂製のコールドパリソンを二軸延伸させて形成した合

実開59-183836

6 L '

322

公開実用 昭和 59 - , 183836

成樹脂製の 段体で、 底部 2 は球面状に下方に膨出形成されている。 3 と 4 は 8 体 1 の 8 部 と 局部であり、 5 は 2 体 1 を安定に起立させるため 6 部 下 端に 嵌合 装着した カップ状の 脚合である。 6 は 口 類 部 に 蝦 替 した キャップを示す。

上記実施例において、把手7をその基板10下



端の基部8により、第2図の如く予かじめ脚合5と一体に形成しておくこともできる。また脚合5に替えて胸部3下端に嵌着されるリングを用いることもできる。尚、前記鋤合5は、球面状の底部2から瘤状の支護を3脚状に至設したものの場合は不要である。



この 種型は近来大形化しつ つあり、手掛りがないと 持ち遅びに 不自由する。しか大形となって、 類が大形となって、 類が大形となって の で 、 類が大形となって の が 使 となる。 な た この が 使 となる。 な り い が 使 と な か ら な か ら な か ら な か ら な か ら な か ら か か ら か な が か の 取 部 3 外 面 に 巻 利 の 取 部 3 外 面 に 添 り け け な り の 取 が り 、 を の で 、 で か は で の な が は で の で 、 た が 設 な で い ず れ も 間 単 で あ り に た り に 加 手 7 を 面 さ ず に す か な れ り に は そ の た め に 特 別に 加 工 を 面 さ が あ る。

4. 図面の簡単な説明

: ;

第1図は本考案合成樹脂製堰の一実顔例の外形

斜視図、第2図は同型の把手の斜視図である。

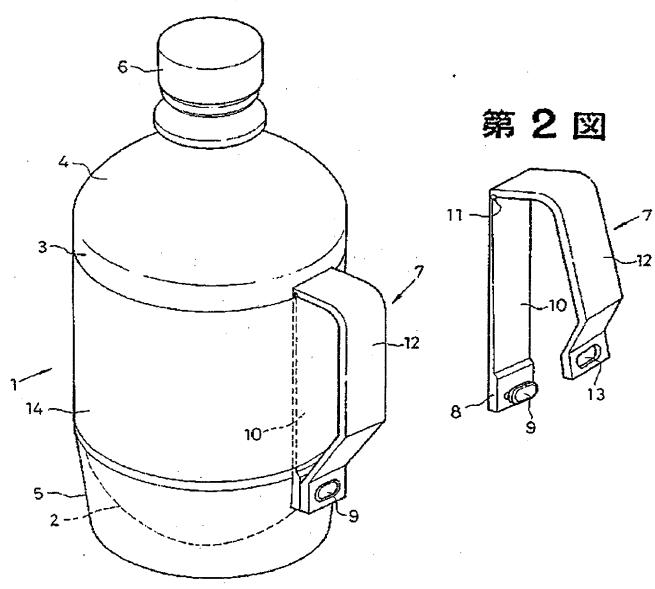
12 ・・ 把 手 体 14・・ シュリンクフイルム

实用新奖登録出願人 株式会社 吉野工 對 所

弥太郎 🔆 代 裘 者 杏

BERT AVAILABLE COPY

第1図



326

実開59-183836

以結 吉 野 弥 太 郎

BEST AVAILABLE COPY